

セミナー開催のお知らせ（文化庁・平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業）
「第三国定住難民の方々に私たちができること～日本語教育支援を通して」

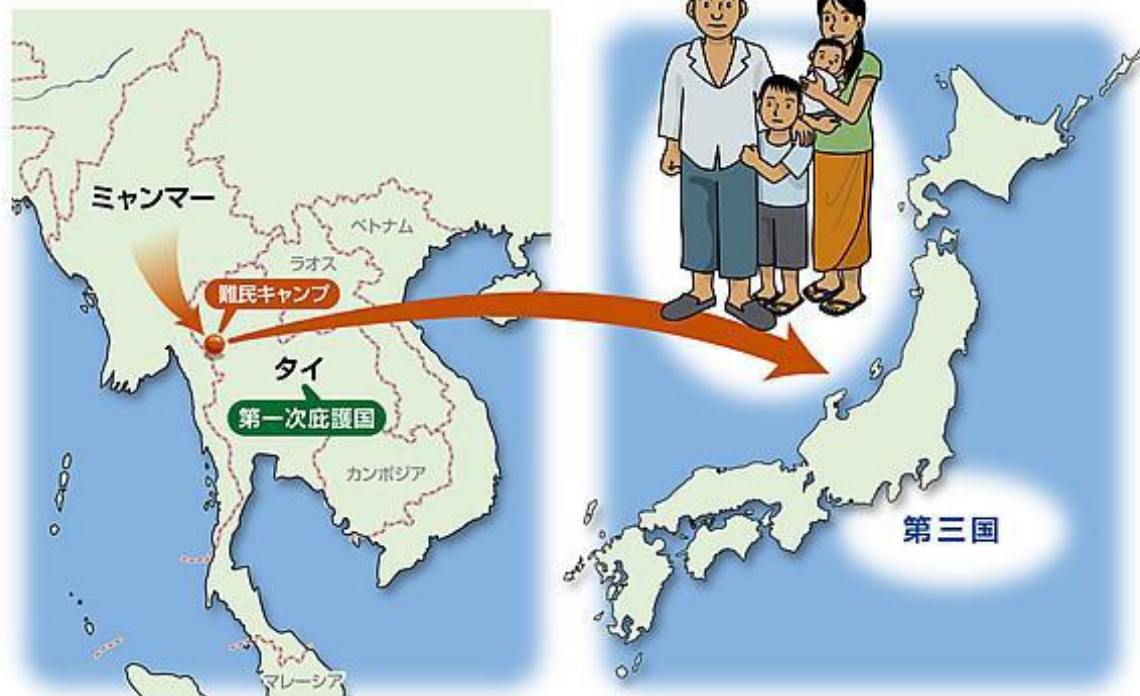
日時：10月13日（土） AM10:00～12:00

場所：瑞沼市民センター 2階 多目的室

対象：第三国定住難民支援ボランティアに関心のある方

講師：AJALT 公益社団法人国際日本語普及協会 内藤真知子 氏

「第三国定住」とは、迫害や紛争によって、難民キャンプなどで一時的な庇護を受けた難民を、当初庇護を求めた国から、新たに受入れに合意した第三国へ移動させることです。日本は、2010（平成22）年から第三国定住をパイロットケースとして開始し、平成24年3月からタイの難民キャンプから、18人のミャンマー難民（カレン族）の方々が三郷市内に居住しています。



【難民が地域社会に定着するためには、地域の皆様の理解と支援が必要です！】

第三国定住難民は、言葉も文化・習慣もまったく異なる日本の生活に不安を抱えながらも、日本での生活に希望を託してやってきました。今後、第三国定住難民が日本社会に定着し、安定した生活を営んでいくには、地域社会や職場・学校などの関係者の皆様の理解と支援が欠かせません。言葉が十分に分からなかったり、文化や習慣が違ったりすることで、お互にとまどうことが多いかもしれませんが、これから同じ社会に暮らす一員として、温かい目で彼らを見守り、応援してください！

11月より、AJALT 講師を迎え、地域のボランティアの皆さんと一緒に、第三国定住者の方々（大人のかた）への日本語支援教室がスタートします（月2回・日曜日。場所：みさと団地北集会所）。皆さんの参加をお待ちしています。なお、10月15日（月）、22日（月）、29日（月）には、日本語指導者養成講座もあります。